

ヨナ1: ヨナ書 第1章

ヨナ1:1 主の言葉がアミッタイの子ヨナに臨んで言った、

ヨナ1:2 “立ってあの大きな町ニネベに行き、これに向かって呼ばわれ、彼らの悪がわたしの前に上ってきたからである”。

ヨナ1:3 しかしヨナは主の前を離れてタルシシへのがれようと、立ってヨッパに下って行った。ところがちょうど、タルシシへ行く船があったので、船賃を払い、主の前を離れて、人々と共にタルシシへ行こうと船に乗った。

ヨナ1:4 時に、主は大風を海の上に起されたので、船が破れるほどの激しい暴風が海の上にあった。

ヨナ1:5 それで水夫たちは恐れて、めいめい自分の神を呼び求め、また船を軽くするため、その中の積み荷を海に投げ捨てた。しかしヨナは船の奥に下り、伏して熟睡していた。

ヨナ1:6 そこで船長は来て、彼に言った、“あなたはどのように眠っているのか。起きて、あなたの神に呼ばわりなさい。神があるいは、われわれを顧みて、助けてくださるだろう”。

ヨナ1:7 やがて人々は互に言った、“この災がわれわれに臨んだのは、だれのせいかわかるために、さあ、くじを引いてみよう”。そして彼らが、くじを引いたところ、くじはヨナに当たった。

ヨナ1:8 そこで人々はヨナに言った、“この災がだれのせいで、われわれに臨んだのか、われわれに告げなさい。あなたの職業は何か。あなたはどこから来たのか。あなたの国はどこか。あなたはどこの民か”。

ヨナ1:9 ヨナは彼らに言った、“わたしはヘブルびとです。わたしは海と陸とお造りになった天の神、主を恐れる者です”。

ヨナ1:10 そこで人々ははなはだしく恐れて、彼に言った、“あなたはなんたる事をしてくれたのか”。人々は彼がさきに彼に告げた殊によって、彼が主の前を離れて、のがれようとしていた事を知っていたからである。

ヨナ1:11 人々は彼に言った、“われわれのために海が静まるには、あなたをどうしたらよからうか”。それは海がますます荒れてきたからである。

ヨナ1:12 ヨナは彼らに言った、“わたしを取って海に投げいれなさい。そうしたら海は、あなたがたのために静まるでしょう。わたしにはよくわかっています。この激しい暴風があなたがたに臨んだのは、わたしのせいです”。

ヨナ1:13 しかし人々は船を陸にこぎもどそうとつとめたが、成功しなかった。それは海が彼らに逆らって、いよいよ荒れたからである。

ヨナ1:14 そこで人々は主に呼ばわって言った、“主よ、どうぞ、この人の生命のために、われわれを滅ぼさないでください。また罪なき血を、われわれに帰しないでください。主よ、これはみ心に従って、なされた事だからです”。

ヨナ1:15 そして彼らはヨナを取って海に投げ入れた。すると海の荒れるのがやんだ。

ヨナ1:16 そこで人々は大いに主を恐れ、犠牲を主にささげて、誓願を立てた。

ヨナ1:17 主は大なる魚を備えて、ヨナをのませられた。ヨナは3日3夜その魚の腹の中にいた。

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ2: ヨナ書 第2章

ヨナ2:1 ヨナは魚の腹の中からその神、主に祈って、

ヨナ2:2 言った、“わたしは悩みのうちから主を呼ばわると、主はわたしに答えられた。わたしが陰府の腹の中から叫ぶと、あなたはわたしの声を聞かれた”。

ヨナ2:3 あなたはわたしを淵の中、海のまん中に投げ入れられた。大水はわたしをめぐり、あなたの波と大波は皆、わたしの上を越えて行った。

ヨナ2:4 わたしは言った、(わたしはあなたの前から追われてしまった、どうして再びあなたの聖なる宮を望みえようか’。

ヨナ2:5 水がわたしをめぐって魂にまでおよび、淵はわたしを取り囲み、海草は矢mあの根元でわたしの頭にまといついた。

ヨナ2:6 わたしは地に下り、地の貫の木はいつもわたしの上にあった。しかしわが神、主よ、あなたはわが命を穴から救いあげられた。

ヨナ2:7 わが魂がわたしのうちに弱っているとき、わたしは主をおぼえ、わたしの祈はあなたに至り、あなたの聖なる宮に達した。

ヨナ2:8 むなしい偶像に心を寄せる者は、そのまことの忠節を捨てる。

ヨナ2:9 しかしわたしは感謝の声をもって、あなたに犠牲をささげ、わたしの誓いはたす。救は主である”。

ヨナ2:10 主は魚のお命じになったので、魚はヨナを陸に吐き出した。

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ3: ヨナ書 3章

ヨナ3:1 時に主の言葉は再びヨナに臨んで言った、

ヨナ3:2 "立って、あの大きな町ニネベに行き、あなたに命じる言葉をこれに伝えよ"。

ヨナ3:3 そこでヨナは主の言葉に従い、立って、ニネベに行った。ニネベは非常に大きな町であって、これを行きめぐるには、3日を要するほどであった。

ヨナ3:4 ヨナはその町にはいり、初め1日路を行きめぐって呼ばわり、"40日を経たらニネベは滅びる"と言った。

ヨナ3:5 そこでニネベの人々は神を信じ、断食をふれ、大きい者から小さい者まで荒布を着た。

ヨナ3:6 このうわさがニネベの王に達すると、彼はその王座から立ち上がり、朝服を脱ぎ、荒布をまとい、灰のなかに座した。

ヨナ3:7 また王とその大臣の布告をもって、ニネベ中にふれさせて言った、"人も獣も牛も羊もみな、何をも味わってはならない。物を食い、水を飲んではいならない。"

ヨナ3:8 人も獣も荒布をまとい、ひたすら神に呼ばわり、おのおのその悪い道およびその手にある強暴を離れよ。

ヨナ3:9 あるいは神はみ心をかえ、その激しい怒りをやめて、われわれを滅ぼされないかもしれない。だれがそれを知るだろう"。

ヨナ3:10 神は彼らのなすところ、その悪い道を離れたのを見られ、彼らの上になすと言われた災を思いかえして、これをおやめになった。

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ\*\*\*:

ヨナ4: ヨナ書 4章

ヨナ4:1 ところがヨナはこれを非常に不快として、激しく怒り、

ヨナ4:2 主に祈って言った、"主よ、わたしがなご国におりました時、この事を申したではありませんか。それでこそわたしは、急いでタルシシにのがれようとしたのです。なぜなら、わたしはあなたが恵み深い神、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かで、災を思いかえされること"◆

4,2-1,思いかえされることを、知っていたからです。

ヨナ4:3 それで主よ、どうぞ今わたしの命をとってください。わたしにとっては、生きるよりも死ぬ方がまだからです"。

ヨナ4:4 主は言われた、"あなたの怒るのは、よいことであろうか"。

ヨナ4:5 そこでヨナは町から出て、町の東の方に座し、そこに自分のために1つの小屋を造り、町のなりゆきを見きわめようと、その下の日陰にすわっていた。

ヨナ4:6 時に主なる神は、ヨナを暑さの苦痛から救うために、とうごまを備えて、それを育て、ヨナの頭の上に日陰を設けた。ヨナはこのとうごまを非常に喜んだ。

ヨナ4:7 ところが神は翌日の夜明けに虫を備えて、そのとうごまをかませられたので、それは枯れた。

ヨナ4:8 容? やがて太陽が出たとき、神が暑い東風を備え、また太陽がヨナの頭を照したので、ヨナは弱りはて、死ぬことを願って言った、"生きるよりも死ぬ方がわたしにはまだ"。

ヨナ4:9 しかし神はヨナに言われた、"とうごまのためにあなたの怒るのはよくない"。ヨナは言った、"わたしは怒りのあまり狂い死にそうです"。

ヨナ4:10 主は言われた、"あなたは労せず、育てず、1夜に生じて、1夜に滅びたこのとうごまをさえ、惜しんでいる。"

ヨナ4:11 ましてわたしは12万あまりの、右左をわきまえない人々と、あまたの家畜とのいるこの大きな町ニネベを惜しまないでいられようか"。